

京都の現状

## 京都の社会の状況

- 古から文学をはじめ、文化・芸術、スポーツ、産業から地域づくりにいたるまで、多くの女性が活躍
- 人口10万人当たりの大学・短期大学数が全国第1位であり、女子の大学進学率も東京について全国第2位
- 少子・高齢化の進行により、就業人口が減少
- 合計特殊出生率 全国ワースト2位  
(平成25年人口動態調査)
- 15～64歳(生産年齢人口)有業率は、61.7%であり、全国平均(63.1%)を下回っている。  
(平成24年就業構造基本調査)
- 女性の起業家の数  
男性の1/5未満(全国1/4未満)  
(平成24年就業構造基本調査)

## 京都の企業の状況

- 中小企業が圧倒的多数  
300人未満の企業の割合 99.7%  
(平成26年経済センサス)
- 民間企業における女性の活躍状況  
一職階別正社員の女性割合は、係長未満39.4%が、係長相当職では11.2%と大きく低下  
(平成26年度府女性活躍実態調査)

## 京都の労働環境

- 長時間労働の実態  
年間就業日数200日以上雇用者のうち、週間就業時間60時間以上の者の割合  
男性19.1%で全国ワースト1、女性6.3%で全国ワースト2  
(平成24年就業構造基本調査)
- 妊娠・出産、育児休業等を理由とする不利益扱いの相談は114件(25年度120件、24年度109件)。相談内容の内訳をみると、解雇、退職勧奨、雇い止めなど、労働者が職を失う可能性のある相談が4割を超えている。  
(平成26年度京都労働局)
- マタハラ被害者(全国) 25.6%  
(2013年5月 連合調査)

推進の基本的な方向

◇才能を発揮し、活躍してもらうよう、積極的な女性の人材発掘、能力開発及び登用等を進めることが必要  
◇同時に、様々な分野における、女性の視点を活かした起業・創業を支援することが必要

◇経営戦略の一つとして、女性の活躍を活かそうとする中小企業に対し、重点的に支援することが必要  
◇女性が結婚・出産・育児等を経ても働き続けることができるよう、就業継続のための支援が必要

◇女性の活躍を推進するためには、長時間労働の是正、ハラスメント対策等の職場環境の整備を左記と併せて行うことが必要

1. 自主的な行動計画の策定推進

2. 積極的な人材発掘・能力開発・登用等の推進

3. 「働き方改革」の推進による環境づくり

4. 起業・創業の推進

## 1. 自主的な行動計画の策定推進

- 輝く女性応援京都会議「人事部」の女性活躍応援マネージャーによる中小企業を中心とした女性社員の活躍計画の策定支援

【数値目標例】－女性活躍応援マネージャーが計画策定支援する企業数 ○社

## 2. 積極的な人材発掘・能力開発・登用等の推進

- 輝く女性応援京都会議において、管理職予備層等各段階の女性社員のキャリアアップを目的とした研修を実施
- 府内の企業の女性社員同士のネットワーク構築を支援

【数値目標例】－府内企業において新たに役員に選任された女性の数 ○人  
 －新たに立ち上がった府内の企業の女性社員のネットワークの数 ○グループ

## 3. 「働き方改革」の推進による環境づくり

- 輝く女性応援京都会議「人事部」においてマタハラ等ハラスメント対策研修を実施
- 長時間労働是正の取組、男性の育児参加の取組等

【数値目標例】－週労働時間60時間以上の雇用者の割合 ○%  
 －年次有給休暇取得率 ○%

## 4. 起業・創業の推進

- 女性の起業・創業支援の取組

【数値目標例】－輝く女性応援京都会議の事業により新たに起業・創業した女性の数 ○人